

施設維持管理業務一覧（参考例）【補足】

施設維持管理業務は、施設管理者等が行う保全業務について専門的見地から点検等により劣化及び不具合の状況を把握し、保守の措置を適切に講ずることにより、故障・不具合を防止し、災害時における機能に支障がない状態の維持に努めるものです。

本資料は施設維持管理業務（参考例）に示した項目のうち、これまで本市で業務委託等により実施していた際の仕様等を示したものです。

（１）エレベーター等（エスカレーター）保守点検

○本館棟エレベーター等（エスカレーター）保守点検

- ・ 本館棟のエレベーター及びエスカレーターの保守点検を行う。
- ・ 対象機器
エレベーター 1 基、エスカレーター 4 基
- ・ 実施内容
エレベーター：フルメンテナンス、地震時管制運転装置、停電時救出運転装置等点検調整、12条点検
エスカレーター：フルメンテナンス、階高・速度等の点検調整、12条点検
- ・ 国土交通省営繕部監修 建築保全業務共通仕様書（以下、共通仕様書）の最新版で明記された内容に基づき実施する。
- ・ 施設管理者は365日24時間出動体制を整え、緊急時連絡表を施設側に提出する。また、故障、災害等により、エレベーターに閉じ込め又は機能停止が生じる等の緊急時には、施設管理担当者等からの連絡を受けてから、到達目標時間を30分以内となるように体制を整える。
- ・ 搬送設備仕様一覧表 別添「資料集（１）－①」参照
- ・ 搬送設備配置図 別添「資料集（１）－②」参照

○駐車場棟エレベーター保守点検

- ・ 駐車場棟の乗用エレベーター 1 基の保守点検を行う。
- ・ 対象機器
エレベーター 1 基
- ・ 実施内容
フルメンテナンス、地震時管制運転装置、停電時救出運転装置等点検調整、12条点検
- ・ 共通仕様書で明記された内容に基づき実施する。
- ・ 搬送設備仕様一覧表 別添「資料集（１）－③」参照

（２）自動ドア保守点検

- ・ 斎場施設内の自動ドアの保守点検を行う。
- ・ 対象機器
本館棟入口 6 台（型式：VS150）、2階・3階身障者用トイレ各 1 台（型式：VS85）
- ・ 点検箇所

ドアエンジンの装置本体各部、動力部装置、制御部装置、操作スイッチ及び制御スイッチ

- ・実施内容

開閉速度・クッション作動・電気回路の異状有無、消耗部品、その他細部の点検及び調整など

- ・設置箇所図面 別添「資料集（２）」参照

（３）消防設備保守点検

- ・斎場施設内の消防設備の保守及び点検を行う。

- ・対象機器

点検対象設備表のとおり

- ・共通仕様書に準じて実施する。駐車場エレベーターの煙感知器の試験は、３階受信機ボックスより外部試験器「MTS 2」（ニッタン）を準備し点検する。

- ・点検対象設備表 別添「資料集（３）－①」参照

- ・設備配置図面 別添「資料集（３）－②」参照

（４）本館棟警備

- ・無人となる夜間及び休場日における施設の防犯・防災のため、センサー装置等による機械警備を行う。
異常の発生を認知したときは、緊急要員を現場に急行させ、確認を行い必要かつ適切な措置をとる。

- ・設置台数

パッシブセンサー14台、マグネットセンサー５台

- ・警備実施時間

開場日 午後５時15分から翌午前８時30分まで

休場日 午前８時30分から翌午前８時30分まで

※休場日については、指定管理者と協議のうえ決定する。

- ・設備配置図 別添「資料集（４）」参照

（５）駐車場警備

- ・駐車場棟内警備に加え、本館棟周辺の車両及び歩行者の警備及び安全な誘導等を行う。

- ・警備実施時間

午前８時30分から午後４時まで

※休場日については、指定管理者と協議のうえ決定する。

- ・実施内容

警備員詰所に常駐し、機械操作による出入り車両の制限、出入り付近の違法駐車車両の整理、場内の車両及び歩行者の安全誘導、駐車場棟の出入り口の鍵の開閉、本館棟入口前の車両の整理及び受入れ霊柩車の誘導、場内長時間駐車車両及び部外車両の排除等を実施する。

通常時には、別添「資料集（５）」の①から⑤に示すポイントの敷地入口から斎場本館正面入口を整理するが、繁忙時（11：00から14：30まで）においては、敷地入口及び斎場本館正面入口を同時に整理すること。

- ・警備配置図 別添「資料集（５）」参照

（６）建築物環境測定業務

- ・斎場敷地内の環境衛生について、定期的に飲料水及び雑用水の水質検査、レジオネラ属菌検査を行い、その状態を把握する。また、空気環境測定に関しては必要に応じて行う。
- ・測定箇所
湯沸室、冷却塔（蓄熱槽）ほか
- ・測定項目一覧 別添「資料集（６）―①」参照
- ・【参考】空気環境測定箇所図 別添「資料集（６）―②」参照

（７）排ガス等定期測定

- ・火葬炉から排出される排ガス中のばいじん濃度・臭気濃度・ダイオキシン類濃度・特定悪臭物質濃度等を定期的（年１回）に測定し、その状態を把握する。
 - ・実施内容
排ガス分析、官能試験、ダイオキシン類測定、調査結果をまとめた報告書の作成
 - ・測定方法
※以下、本市が委託実施した際の仕様を記載します。
排気筒出口において、J I S（日本工業規格）等の基準に準拠し、その定める調査・測定方法により測定を行う。使用する測定・分析器材はJ I S規格品及び計量法に定める有効期限内であること。
- ① 測定箇所及び測定のタイミング
 - ア 全６系列の火葬炉排気筒の内、本市の指定する３筒について、排気筒に取り付けられた測定口において実施すること。
 - イ 測定は、同一系列で２回目以降の火葬とする。
 - ② ばいじん濃度調査
 - ア JIS Z 8808 に基づく円形（筒）ろ紙法により、１工程の平均濃度を測定する。
 - イ 試料採取は移動採取法で、自動等速吸引により行う。
 - ウ 測定は、当日の火葬炉の運転状況を見ながら実施する。
 - エ １工程の平均とは、再燃炉バーナー着火から主燃炉バーナー消火までとする。
 - ③ 臭気濃度調査
横浜市三点比較式臭袋法実施要領により瞬時の最大値（試料採取用バッグを十分に満たす時間の値）を測定する。
 - ④ 特定悪臭物質濃度（２２物質）調査
 - ア 平成８年２月２２日環境庁告示第４号に定める悪臭物質の測定法により悪臭物質濃度を測定する。
 - イ 試料採取は排気筒ごとに採取する。なお、試料採取にあたっては温度管理を十分に行うこと。
 - ウ 排気筒出口濃度の試験方法が定められていない物質については、大気中の試験に準じて測定する。
 - ⑤ 塩化水素濃度調査（１工程）
JIS K 0107 に基づく、40ppm以下の最適分析方法により測定する。また、試料採取は排気筒ごとに採取する。採取時間は再燃炉バーナー着火から主燃炉バーナー消火までとする。
 - ⑥ 一酸化炭素濃度調査（１工程）
JIS K 0098 に基づく、50ppm以下の最適分析方法により測定する。また、試料採取は排気筒ごとに採

取する。採取時間は再燃炉バーナー着火から主燃炉バーナー消火までとする。

⑦ ダイオキシシン類調査

「廃棄物処理におけるダイオキシシン類標準分析マニュアル」（厚生省）に準拠し、排気筒出口においてダイオキシシン濃度を測定する。担当職員と協議のうえ、対象採取排気筒及び採取場所を決定する。

ア 排ガス中のダイオキシシン類濃度については、JIS K 0311「排ガス中のダイオキシシン類及びコプラナーPCBの測定方法」に準拠した方法により試料を採取し、測定すること。採取時間は再燃炉バーナー着火から主燃炉バーナー消火までとする。

イ 集じん灰は担当職員と協議し、採取箇所を決定後、ダイオキシシン類濃度を測定すること。

なお、調査にあたって必要なデータは火葬炉運転日報等から確認し、整理すること。

- ・測定調査項目表 別添「資料集（７）－①」参照
- ・火葬炉フローシート 別添「資料集（７）－②」参照

（８）空気調和設備保守点検

- ・空気調和設備機器の冷暖房切替作業及び保守点検を行う。
- ・実施内容
冷房イン点検、冷房オン点検、自動制御機器点検、暖房イン点検、暖房オン点検
※吸収式冷温水発生機はメーカー技術者による点検を行うこと。
- ・年間スケジュール

点検	時期	機器
冷房イン	４月	吸収式冷温水発生機、冷却塔（清掃時期は別途協議）、冷却水ポンプ、冷温水ポンプ、空気調和機、パッケージ型空調機（PAC-1, 2）、吹出口・吸込口清掃
冷房オン	８月	吸収式冷温水発生機、冷却塔、送風機、パッケージ型空調機（PAC-3～9）、空調機フィルター交換、集じん機室フィルター交換
自動制御機器	10月	自動制御機器
暖房イン	11月	吸収式冷温水発生機、冷却塔（シーズンオフ）、空気調和機、パッケージ型空調機（PAC-1, 2）（PAC-4, 5, 6 加湿器）
暖房オン	２月	吸収式冷温水発生機、全熱交換型換気扇

- ・機器仕様一覧 別添「資料集（８）－①」参照
- ・吹出口・吸込口一覧 別添「資料集（８）－②」参照
- ・構成図 別添「資料集（８）－③」参照

（９）自家発電機設備保守点検

- ・自家発電機設備の法定点検・総合点検を前後期の２回行い、設備の保守を行う。
- ・共通仕様書で明記された内容に基づき実施する。
- ・実施内容
発電機、自動始動用発電機盤、ガスタービン、始動用直流電源装置の点検、ダミー負荷試験の実施

- ・設備配置図 別添「資料集（９）－①」参照
- ・配管系統図 別添「資料集（９）－②」参照
- ・点検範囲図 別添「資料集（９）－③」参照
- ・概要表 別添「資料集（９）－④」参照

（10）受変電設備保守点検

- ・受変電設備の機器点検・総合点検等の保守点検を行う。
- ・共通仕様書で明記された内容に基づき実施する。
- ・実施内容
電灯・動力盤設備（分電盤、制御盤、幹線、配電盤等、変圧器、交流遮断器）の絶縁抵抗測定及び点検清掃、受変電設備（断路器、計器用変圧器、変流器、避雷器、高圧負荷開閉器、高圧カットアウト、高圧電磁接触器、力率改善装置、指示計器・保護継電器、低圧開閉器類、特別高圧ガス絶縁スイッチギア、その他特別高圧関連機器、整流装置）の各動作試験及び点検清掃、直流電源装置（蓄電池）の外観・機能の総合点検（点検時模擬負荷を準備し、消防法による蓄電池容量点検記録を行う。）
- ・点検対象表 別添「資料集（10）－①」参照
- ・電気設備配置図 別添「資料集（10）－②」参照
- ・電力系統図 別添「資料集（10）－③」参照
- ・分電盤接続図 別添「資料集（10）－④」参照
- ・動力制御負荷表 別添「資料集（10）－⑤」参照
- ・直流電源装置仕様ほか 別添「資料集（10）－⑥」参照
- ・結線図 別添「資料集（10）－⑦」参照

（11）ＩＴＶ設備保守点検

- ・斎場施設内に設置しているＩＴＶ設備機器の保守点検業務を行う。
- ・対象機器
ＩＴＶラックモニター２架、天井埋込型カラーカメラ１３台、屋上カメラ１台、駐車場カメラ５台
- ・実施内容
構成機器の外観及び設置状況の確認、映像の確認調整、その他システム機能上必要な点検及び調整
- ・設置箇所図 別添「資料集（11）－①」参照
- ・参考写真 別添「資料集（11）－②」参照

（12）脱臭設備保守点検

- ・脱臭設備の性能を維持するためフィルター交換、清掃、測定作業及び保守点検を行う。
- ・対象機器
脱臭フィルターユニット４基（ＤＦ－１，ＤＦ－２，ＤＦ－３，ＤＦ－４）

脱臭フィルターユニット	脱臭フィルター	プレフィルター	アフターフィルター	設置場所
D F - 1 (TP580K) ロビー、エントランス用	1 2 8 ケース (交換は半数の 64 ケース)	2 0 枚	2 0 枚	B 1 F 機械室
D F - 2 (TP410K) 告別、収骨室用	9 6 ケース (交換は半数の 48 ケース)	1 6 枚	1 6 枚	B 1 F 機械室
D F - 3 (TP450K) 休憩室用	9 6 ケース (交換は半数の 48 ケース)	1 6 枚	1 6 枚	B 1 F 機械室
D F - 4 (TP580K) 炉室用	1 2 8 ケース (交換は半数の 64 ケース)	2 0 枚	2 0 枚	3 F 機械室
合計	4 4 8 ケース (交換は半数の 224 ケース)	7 2 枚	7 2 枚	—
備考	400×400×180 t 14.5kg/ケース	(P S 600) 500×500×25 t	(T F 90) 500×500×25 t	—

脱臭剤：ピュアライト E 2 + O 2

- ・実施内容

フィルターの交換・洗浄、清掃、測定、脱臭材更新作業

- ・脱臭フィルターの交換

脱臭フィルターユニット（D F - 1, 2, 3, 4）の脱臭フィルターを交換する。各ユニットの脱臭フィルターは、全数の内それぞれ半数を交換する。一昨年交換したフィルターを交換し、今年交換したフィルターには、特定できるように交換年を記す。脱臭フィルターは斎場内の予備品と交換する。

使い終わった脱臭フィルターは専門工場に搬出し、脱臭剤を詰め替え、久保山斎場内指定場所に予備品として納入する。交換作業時は、脱臭剤の散乱及び粉塵の浮遊防止に努め、周辺の養生を十分に行う。

脱臭フィルターの交換は、斎場の休場日とする。

- ・プレ・アフターフィルターの交換

脱臭フィルターユニット（D F - 2, 3）のプレ・アフターフィルターを新品と年 1 回交換する。

脱臭フィルターユニット（D F - 1, 4）のプレ・アフターフィルターを新品と半年ごとに年 2 回交換する。

使い終わった D F - 1 のプレ・アフターフィルターは洗浄し、予備フィルターとして指定場所に納める。

D F - 4 のプレ・アフターフィルターは中間期に上記予備フィルターと年 2 回交換する。

交換した D F - 1 以外のフィルターは適切に処分する。

フィルター交換に際し、脱臭フィルターユニットを目視点検し、異常の有無を担当職員に報告する。

- ・臭気濃度測定

脱臭剤の効果を判定するために、脱臭フィルター交換後、各脱臭フィルターユニット出入口の空気をサンプリングし、横浜市三点比較式臭袋実施要領により臭気濃度の測定を行う。サンプリングは、脱臭フィルター交換後数日経った、斎場運営時間内に行う。

・緊急対応

脱臭フィルターユニット等に不具合が発生し、斎場職員から連絡があった場合は、ただちに作業員を派遣し応急措置を講じる。応急措置後、速やかに職員に結果報告を行う。なお修繕、部品の交換等にかかる費用は、別途担当職員との協議によるものとする。

本業務着手時に緊急時の体制（24時間体制）を明記した緊急時連絡表を提出するとともに、緊急時の体制について綿密な打合せを行うこと。

・年間スケジュール

	時期	内容
前期	4月	斎場年間業務予定表に基づく、日程及び緊急時対応打合せ フィルター交換日、脱臭剤ケース交換日、搬出日、詰め替え済み脱臭剤ケースの搬入日等の決定
	5月	D F - 4 プレ・アフターフィルターを予備フィルターと交換 (プレ20枚、アフター20枚)
	8月	D F - 1, 4 プレ・アフターフィルターを新品と交換 (プレ40枚、アフター40枚) *取り外したD F - 1 のフィルターは、洗浄しD F - 4 の予備フィルターとする。
後期	11月	D F - 4 プレ・アフターフィルターを予備フィルターと交換 (プレ20枚、アフター20枚)
	2月	D F - 1, 2, 3, 4 プレ・アフターフィルターを新品と交換 (プレ72枚、アフター72枚) *取り外したD F - 1 のフィルターは、洗浄しD F - 4 の予備フィルターとする。
		D F - 1, 2, 3, 4 脱臭フィルター交換 (224ケース) 脱臭剤ケース搬出 *マシンハッチを開けるため、他の委託作業との関連に注意する。 *3 F ホイスト使用。 臭気濃度測定
		脱臭剤ケース搬入 (詰め替え済みの物) *マシンハッチを開けるため、他の委託作業との関連に注意する。 *3 F ホイスト使用。 業務報告書提出

- ・脱臭設備配置図 別添「資料集 (12) - ①」参照
- ・脱臭設備フロー図 別添「資料集 (12) - ②」参照
- ・脱臭装置参考図 別添「資料集 (12) - ③」参照

(13) 表示システム保守点検

- ・予約システム用パソコンからのデータ取得、火葬炉時系列データの管理及び会葬者向け案内表示器等を制御するシステムの清掃、動作確認、電圧測定、損耗状態の確認等を行う。また、営業時間中の故障

についてはオンコール態勢で対応する。

・対象機器

パソコン、無停電電源装置、プリンター、液晶表示器、式進行状態モニタ、手動設定盤、音声制御装置

・実施内容

対象機器	内容
パソコン	清掃及び起動・終了動作確認、外部記憶装置の動作確認、各ケーブルのコネクタ接続状況の確認、システム時計の調整
無停電電源装置	清掃及び停電時のバッテリー駆動切替動作確認、本体自己診断機能によるバッテリー消耗状態の確認（バッテリー交換は除く）
プリンター	清掃及び印字動作の確認、消耗品の状態確認及び交換（E Tカートリッジ以外の消耗品は除く）
液晶表示器、 式進行状態モニタ、 手動設定盤	清掃、電源・電圧測定及び表示動作確認
音声制御装置	放送動作の確認（各休憩室・共有エリア）

・システム構成図 別添「資料集（13）－①」参照

・設置箇所写真 別添「資料集（13）－②」参照

（14）清掃業務（定期清掃）

・斎場施設内外及び駐車場棟の清掃を行う。

・実施内容

床（ジュータン、石材等）、ガラス、サッシ、屋上、トップライト、照明器具、壁面、U字溝、ドレン配管、受水槽、駐車場等の清掃

・清掃作業点検表

作業種別 室種別	ポリッシャー掛け	ワックス掛け	ジュータン清掃	ガラス清掃	鏡面サッシ清掃	照明器具清掃	大理石壁面清掃	タイル清掃	受水槽清掃	U字溝清掃	床の掃き掃除	床のモップ拭き	高圧水洗浄	小計
階段	●	●				●								3
休憩コーナー	●		●			●								3
風除室	●			●	●	●								4
エントランスホール	●					●	●							3
告別・収骨室	●					●	●							3
倉庫						●					●	●		3

残灰室						●					●	●		3
ロビー			●	●	●	●	●							5
休憩室 (洋室)			●	●	●	●								4
坪庭 (屋上庭園)						●								1
事務室			●	●		●								3
会議室			●	●		●								3
運転手控室	●	●		●		●								4
炉前ホール	●					●	●							3
炉裏	●	●				●								3
監視室	●	●		●		●								4
地下機械室						●								1
トイレ	●			●		●								3
物入れ (更衣室)	●	●				●								3
湯茶控室	●	●		●		●								4
ゴミ置き場	●	●				●								3
床の間						●					●	●		3
湯沸し・ 脱衣所	●	●		●		●								4
受水槽									●					1
U字溝										●				1
ドレン配管													●	1
屋上トップ ライト				●										1
駐車場													●	1
書庫・ ロッカー室	●	●				●								3
エレベータ ー機械室											●	●		2
地下詰所						●					●	●		3
小計	15	9	5	11	3	25	4	0	1	1	5	5	2	

・作業要領

(1) 定期清掃（床面）

作業箇所	回数／年	作業要領
ジュータン	4回	①自動洗浄機にて表面洗浄する。 ②すすぎ洗いし、乾燥する（シミ取り含）
石材	4回	①自動洗浄機にて表面洗浄する。 ②すすぎ洗いし、乾燥する（シミ取り含）
塗り床	4回	①床材専用洗剤を使用し、機械にて表面洗浄する。（除塵含） ②汚水をバキュームにて回収する。 ③モップで水分を拭き取る。
塩ビシート	4回	①床材専用洗剤を使用し、機械にて表面洗浄する。 ②汚水をバキュームにて回収する。 ③モップで水分を拭き取る。 ④床面乾燥後、ワックスを塗布し仕上げる。
モルタル	4回	①床材専用洗剤を使用し、機械にて表面洗浄する。（除塵含） ②汚水をバキュームにて回収する。 ③モップで水分を拭き取る。 ④高所部分の埃を取る。
その他	—	①薬品を使用した場合は、洗浄後薬品が残らないように注意すること。 ②椅子等は、机の上にあげて作業すること。 ③必要に応じ、剥離剤等で洗浄し新しく表面皮膜を再生すること。

(2) その他清掃

作業箇所	回数／年	作業要領
ガラス 鏡面サッシ	2回	①洗剤で汚れを取り除き仕上げる。 ②作業実施にあたっては、静粛かつ足元に十分注意し、清掃用水の取扱いについては、事務所および通行人等に飛散しないよう特に注意すること。 ③悪臭を放つ薬品、建物に悪影響を与える薬品・用具類を使用してはならない。
受水槽清掃 （簡易専用水 道検査含む）	1回	①清掃の際には、清潔な衣服・靴等を着用し、衛生には十分注意すること。 ②槽内の水を空にし、高圧洗浄・デッキブラシを使用し、清掃する。
屋上清掃	3回	①屋上・排水ドレン部分を洗浄し、ゴミを除去する。 ②トップライト（採光）部分の汚れを落とし清掃する。
照明器具	1回	①器具のカバー等破損のないよう注意し、作業する。 ②各電球は、清掃後、確実に点灯するよう確認する。

大理石壁面	1 回	①壁面に傷がつかないように注意して清掃する。
U字溝清掃	2 回	①U字溝に詰まったゴミ・土等を除去し洗浄する。
ドレン配管	1 回	①排水ドレン部分に詰まったゴミ・土等を除去し清掃する。 ②配管内を高圧洗浄等で洗浄する。 ③必要に応じて配管内の詰まりを除去・清掃すること。

- ・清掃実施範囲図 別添「資料集（14）」参照

(15) 植栽管理

- ・斎場施設内の環境保全及び安全確保のため、植栽の管理業務を行う。
- ・管理範囲
本館 2 階・3 階ベランダ及び屋上、本館外周（西側・北側）、通路脇石積み側・駐車場側、駐車場廻り、入口ガードマンボックス廻り等
- ・実施内容
除草・清掃、生垣・低木刈込、中・高木剪定、木枝・枯枝撤去、薬剤散布等
- ・品種
サルスベリ、クロガネモチ、ツバキ、ハナミズキ、シラカシ、モミジ、ヤマボウシ等
- ・実施内容（参考：令和 5 年度実施時の数量）

名称	形状寸法等	数量	適用
1 除草・清掃工			
本館 2・3 階ベランダ及び屋上		705 m ²	
本館外周（西側・北側）他		748 m ²	通路石積側 通路駐車場側を含む
駐車場廻り（屋上及び墓地側）		302 m ²	
入口ガードマンボックス廻り		20.5 m ²	
計		1775.5 m ²	
2 本館 2・3 階ベランダ及び屋上			
低木刈込		250 m ²	
3 入口ガードマンボックス廻り			
低木刈込		13 m ²	
生垣刈込	H=2.0	13m	
高木剪定 サルスベリ	C=0.65～	1 本	
高木剪定 クロガネモチ	C=0.90～	1 本	
4 駐車場廻り			
低木刈込		82 m ²	
中木剪定 ツバキほか	H=2.0～3.0	6 本	
生垣刈込	H=2.0	5 m	
高木剪定 ハナミズキほか	C=0.31～0.60	12 本	

高木剪定 シラカシ、モミジ	C=0.91~1.20	3本	墓地入口通路
高木剪定 クロガネモチ	C=1.81~2.10	1本	
5 通路脇（石積み側・駐車場側）			
中木剪定 ツバキほか	H=2.5~3.0	6本	石積み側
高木剪定 ヤマボウシ	C=1.3	1本	駐車場側
6 本館外周北側（墓地側）			
低木刈込		10 m ²	
中木剪定	H=2.0	15本	
生垣刈込 シラカシ	H=2.5	40m	
高木剪定 ツバキほか	C=0.31~0.60	4本	
高木剪定 クロガネモチ、シラカシ	C=0.91~1.20	2本	
7 枯木・枯枝撤去工			
H=3.0~5.0		5本	屋上 本館外周北側サクラ
H=1.5		1本	屋上
H=1.0		23本	3階
8 未生木伐採			
H=1.0		3本	3階
9 薬剤散布工			
低木及び地被		1680.5 m ²	
中木 H=2.0以下		5本	
中木 H=2.0~3.0		90本	
中木生垣 H=2.0~3.0		240m	屋上、本館外周北側、 駐車場廻り、ガードマ ンボックス
高木 C=0.31~0.45		65本	
高木 C=0.46~0.60		5本	
高木 C=0.76~0.90		5本	
高木 C=0.91~1.05		5本	
高木 C=1.06~1.20		3本	
高木 C=2.00~2.15		2本	

・管理範囲図 別添「資料集（15）」参照

（16）害虫駆除等業務

・ねずみ、害虫等の発生及び侵入の防止のため適切な措置を講じ、施設の衛生的な環境を維持する。

・実施内容

生息・喫食・聞き取り及び目視調査、薬剤散布、効果判定等

- ・作業方法

生息状況調査	粘着トラップ、目視、聞き取り等	年6回
全域箇所防除	調査の結果、生息が予想される箇所で実施	年2回
重点箇所防除	特に害虫が発生しやすい箇所で実施	年4回
効果判定	防除作業後、1週間から3週間までに実施	年6回
樹木害虫駆除	サクラ（ソメイヨシノ）5本の毛虫駆除	年1回
- ・施工箇所図 別添「資料集（16）」参照

(17) 小便器リポートメンテナンス

- ・斎場施設内の小便器の保守点検を行う。
- ・対象機器

2階男性用トイレ5台、3階男性用トイレ5台 計10台
- ・実施内容

設備の不具合、日常管理状況の確認、トイレ診断、補足清掃の報告
- ・作業内容

定期トイレ診断 定期的に訪問し、設備の不具合や日常管理の状況チェック

快適維持清掃 日常では手の届かない場所の清掃

報告 トイレの診断、補足清掃の結果報告
- ・履行回数

2階男性用トイレ6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

3階男性用トイレ6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）
- ・施工箇所図 別添「資料集（17）」参照

(18) 汚水槽・雑排水槽清掃

- ・本館棟内の汚水槽及び雑排水槽の清掃を行う。
- ・対象機器

汚水槽及び雑排水槽 鉄筋コンクリート水槽 空間容量25トン
- ・作業内容

汚水槽、雑排水槽の清掃を行う。作業前には槽内の酸素濃度等を測定し、作業中には換気装置を設置し強制換気を行う。また、ヘルメット・安全帯・マスク等を使用して安全に十分に配慮する。
- ・清掃箇所図 別添「資料集（18）」参照

(19) 給排水衛生設備保守点検及び清掃

- ・斎場施設内の給排水衛生設備の保守点検及び清掃を行う。
- ・対象設備機器

給湯温水器、貯湯槽、加圧給水ポンプ、屋内消火栓ポンプ、給湯ポンプ、排水ポンプ、消火用補給水槽、ウォータークーラー、電気湯沸器、衛生器具等
- ・実施内容

- 給湯温水器 燃焼室、伝熱室、熱交換器、煙道、抽気装置、安全装置、バーナーその他燃焼装置、操作盤の点検及び作動確認、絶縁抵抗測定
- 貯湯槽 本体の漏れ、膨れ、パッキン、ボルト等のゆるみ、圧力計、温度計等の点検、安全弁の作動確認、制御機器、電気防食装置の状態確認、絶縁抵抗測定、槽内清掃
- ポンプ グランドパッキンの調整又は交換、運転状況及び作動確認、操作盤、呼水水槽の点検、圧力タンク点検及び圧力調整、絶縁抵抗測定、本体清掃
- その他機器 ウォータークーラー、電機湯沸器（貯湯式）の点検調整、作動状況の確認
- ・機器仕様 別添「資料集（19）」参照

(20) 計装監視設備保守点検委託

- ・火葬炉設備の計装監視設備を正常で良好な状態に保つため点検及び調整を行う。
 - ・対象設備
排ガス分析計、自動制御装置、シーケンサー、計装監視システム
 - ・実施内容
- ① 排ガス分析計点検等
- 火葬炉から排出される排ガスの NO_x 、 SO_2 、 CO 、 O_2 を連続分析するガス分析計の点検等業務の実施は、契約月から毎月1回手動校正と各部機器及び部品の点検を行いその試験校正データを報告する。なお、実施日時等は、職員の指示による。
- ② 自動制御装置点検等
- 自動制御装置点検等業務の実施は年1回とし、実施日時等は職員の指示による。また、自動制御動作が適正に行えるようPID・各種パラメータを確認する。
- ・保守点検項目 別添「資料集（20）－①」参照
 - ・構成図 別添「資料集（20）－②」参照
 - ・フローシート 別添「資料集（20）－③」参照
 - ・機器構成図 別添「資料集（20）－④」参照
 - ・構成機器一覧 別添「資料集（20）－⑤」参照
 - ・系統図 別添「資料集（20）－⑥」参照
 - ・システム構成図 別添「資料集（20）－⑦」参照
 - ・操炉・監視システム構成図 別添「資料集（20）－⑧」参照
 - ・統括システム構成図 別添「資料集（20）－⑨」参照